

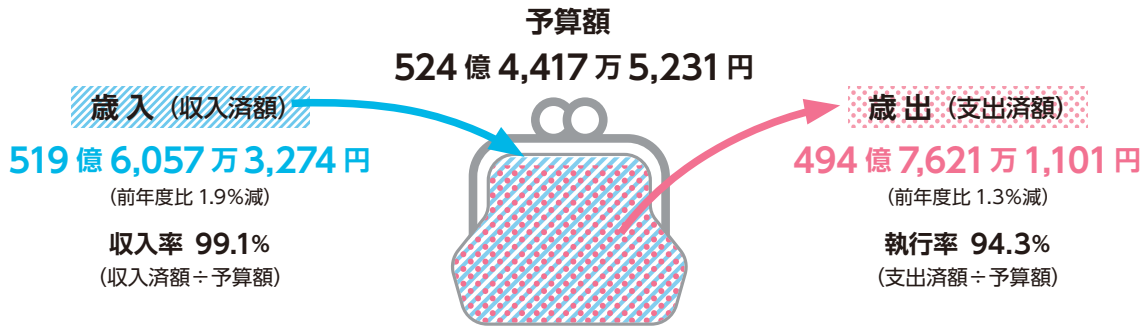
戸田市の財政事情

問い合わせ
財政課 (内線 415)

市では年 2 回、財政状況の公表を行っています。
今回は、平成 30 年度決算および令和元年度上半期の状況についてお知らせします。

平成 30 年度決算

平成 30 年度の決算は、限られた財源を有効的に各事業に配分し、経費全般について削減を図りながら、計画的・効率的な予算執行に努め、次のとおりになりました。



市民の負担の状況：一般会計

平成 30 年度一般会計決算額を
市民一人当たりへに換算した場合、
次のようになります。

平成 31 年 4 月 1 日現在 | 人口 139,770 人
(昨年度 138,960 人)

市民一人当たりの公共サービスにかかるお金

353,983 円

(昨年度 360,864 円)

市民一人当たりの負担 (市税)

203,994 円

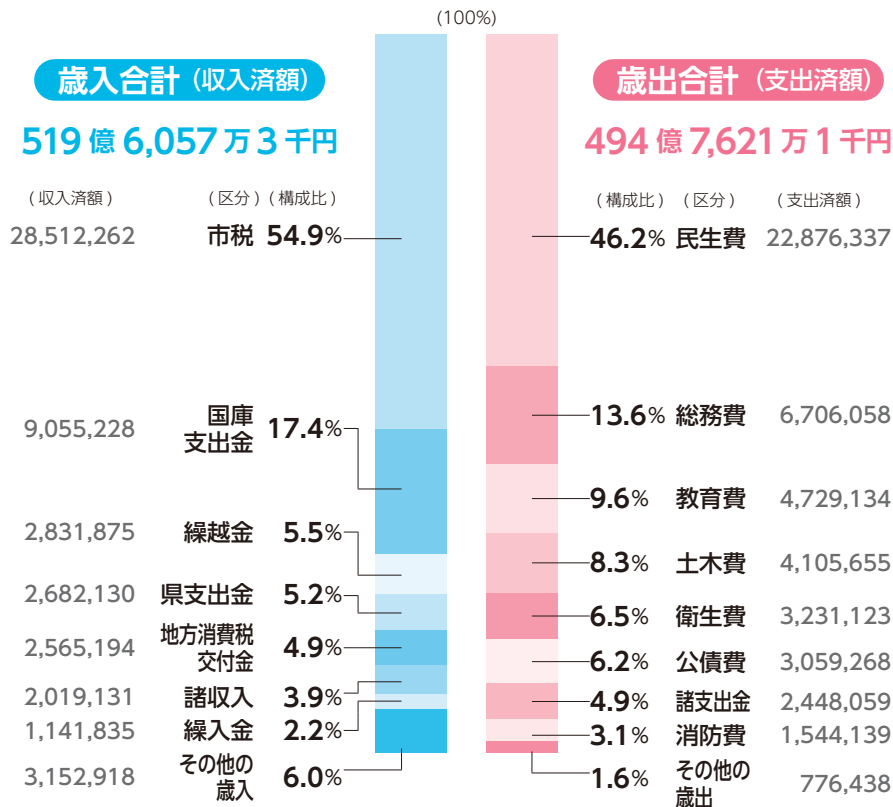
(昨年度 207,639 円)

国・県からの支出金収入や
競争事業収益配分金などの税以外の収入

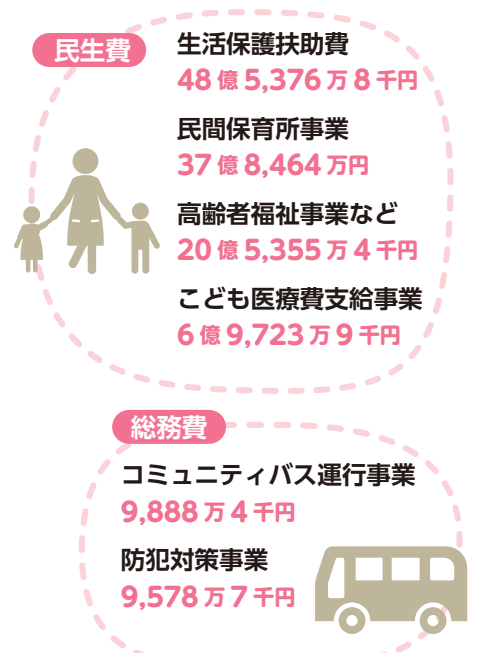
149,989 円

(昨年度 153,225 円)

一般会計 (単位:千円)



主な使い道



平成30年度に行われた主な事業（H30年度決算額）

学童保育室事業

4億4,799万5千円



喜沢小学校の公立学童保育室2室の老朽化などに対応するため、2室分の児童を受け入れら

れる施設を新たに整備しました。また、保育需要の高い地域を中心に民間学童保育室を誘致することで新たな受け皿を確保し、待機児童対策に取り組んでいます。



防災事業

2億2,936万円

市からの防災情報をより確実に伝達するため、防災行政無線の放送内容を受信できる防災ラジオの配付を開始しました。また、新しい荒川の浸水想定区域図を掲載した「戸田市ハザードブック」を全戸配布しました。



消防車両の整備事業

3,148万2千円

消防車両更新計画に基づき、高規格救急自動車・高度救命処置用資機材(救急2号車)の更新を行いました。市民の安全な暮らしを守るため、消防体制の強化を図っています。



財政指標

平成30年度決算において算出した財政指標は、①、②は黒字、③、④は基準値を下回っており、いずれも「健全段階」にあります。

4つの財政指標

		戸田市の 財政指標	早期健全化基準 (戸田市)
① 実質赤字比率	普通会計に相当する一般会計および特別会計の赤字の程度を示し、資金繰りの深刻度を示す比率	- (黒字)	11.80%
② 連結実質赤字比率	水道事業など、市の全ての会計の資金繰りの深刻度を示す比率	- (黒字)	16.80%
③ 実質公債費比率	一般会計などが負担する借入金返済額を指標化したもの。この比率が高いと各年度の財政運営が厳しくなる。	5.0%	25.0%
④ 将来負担比率	市の借入金など、財政負担の残高を指標化したもの。この比率が高いほど、将来的な財政負担が高くなる。	18.7%	350.0%

特別会計 (単位：千円)

会計	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	12,163,700	11,360,720	11,186,818
市民医療センター	919,819	886,213	820,074
交通災害共済事業	9,277	8,261	7,110
海外留学奨学事業	10,545	4,296	3,861
火災共済事業	3,908	2,700	2,491
新首第一 土地区画整理事業	899,188	888,162	746,966
介護保険	6,295,761	6,347,584	6,124,494
新首第二 土地区画整理事業	1,221,111	984,592	918,927
後期高齢者医療	1,134,364	1,090,672	1,077,456
在宅介護支援事業	102,341	93,838	74,432
合計	22,760,014	21,667,038	20,962,629

※収入額には一般会計からの繰入金も含まれています

土木費

公園整備・緑化対策
7億4,539万7千円

河川整備
4億4,702万8千円

道路・橋りょう整備事業
3億9,465万6千円



教育費

小・中学校費
13億1,219万2千円

学校給食事業
12億5,498万1千円

私立幼稚園助成事業
3億4,874万2千円



衛生費

ごみ・し尿処理事業
14億9,891万6千円



令和元年度上半期の状況

令和元年度上半期は、社会保障関係経費の自然増が高い水準で推移していることなどにより、厳しい財政状況にあります。

このような状況下で計画された諸事業については、引き続き経費の節減を図りながら効率的に実施するよう努めており、一般会計・特別会計とも概ね計画どおりに推移しています。

市の財産 (令和元年9月30日現在)

市有地	建物	各種基金など
1,288,728.42㎡	284,680.61㎡	162億389万9千円

市債残高

市債は、市民の皆さんが長期間使用する公共施設を整備するため、長期にわたり借り入れる資金です。資金を長期的に借り入れることで、世代間の財政負担の公平性を図り、計画的な施設の整備を行うことが可能になります。

	令和元年 9月末現在(千円)	市民 1人当たり(円)
一般会計	22,494,680	160,941
会特 市民医療センター	1,094,933	7,834
計別 新曽第一、第二土地区画整理事業	1,170,654	8,376
合計	24,760,267	177,150

※ 市民一人当たりの額は、市債残高を平成31年4月1日現在人口 139,770人で割った金額です

令和元年度上半期 上下水道事業会計財政事情

上下水道事業は、皆さんが支払った水道料金および下水道使用料をもとに、事業運営に必要な経費を賄う「独立採算制」を原則に経営を行っています。

問い合わせ 上下水道経営課 ☎ 229-4606

資産および借入金残高

	項目	合計額
水道事業	資産(現金・水道施設など)	193億5,341万0千円
	借入金残高(企業債)	38億882万5千円
下水道事業	資産(現金・施設など)	224億1,076万6千円
	借入金残高(企業債)	88億4,475万7千円

平成30年度 戸田市土地開発公社の決算

平成30年度 貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
1. 流動資産	48億9,402万1千円	1. 流動負債	25億5,973万8千円
(1) 現金および預金	1億1,040万8千円	(1) 未払金	418万6千円
(2) 公有用地	47億8,361万3千円	(2) 短期借入金	25億5,555万2千円
2. 固定資産	21万2千円	2. 固定負債	22億2,806万1千円
(1) 有形固定資産	15万2千円	(1) 長期借入金	22億2,806万1千円
・車両運搬具	10万9千円	負債合計	47億8,779万9千円
・器具および備品	4万3千円		
(2) 投資その他の資産	6万0千円		
・出資金	6万0千円		
資産合計	48億9,423万3千円		

負債および資本合計 48億9,423万3千円

歳入歳出執行状況 (令和元年9月30日現在)

区分	予算現額(千円)	収入率(%)	執行率(%)
一般会計	56,808,571	47.0	35.1
国民健康保険	11,597,587	45.0	43.9
市民医療センター	941,974	41.1	37.8
交通災害共済事業	6,044	100.1	18.3
海外留学奨学事業	12,991	51.8	47.3
特別会計			
火災共済事業	2,785	56.3	0.9
新曽第一土地区画整理事業	1,333,058	43.2	35.0
介護保険	6,642,290	45.7	39.7
新曽第二土地区画整理事業	1,448,529	29.2	20.9
後期高齢者医療	1,186,997	32.2	26.0
在宅介護支援事業	118,498	46.6	36.5
特別会計合計	23,290,753	43.4	39.6
合計	80,099,324	45.9	36.4

※ 収入率：収入済額÷予算額 執行率：支出済額÷予算額

主な基金の現在高 (単位：千円)

基金は、特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用したりするために設置されるもので、主な残高は以下のとおりです。

◎財産を維持し、資金を積み立てるために設置された基金

	令和元年9月末現在	平成31年3月末現在
財政調整基金	5,073,181	6,250,181
都市開発基金	1,094,688	1,254,308
公共施設等整備基金	6,094,711	6,094,711
環境対策基金	198,353	198,353

◎定額の資金を運用するために設置された基金

	令和元年9月末現在	平成31年3月末現在
まちづくり土地開発基金	2,630,356	2,624,799

収益的収入および支出

区分	予算額	執行額	執行率
水道事業	収入 26億2,843万5千円	12億256万2千円	45.8%
	支出 24億7,736万7千円	6億3,226万0千円	25.5%
下水道事業	収入 28億6,935万7千円	11億5,220万4千円	40.2%
	支出 26億7,713万9千円	4億1,310万2千円	15.4%

資本的収入および支出

区分	予算額	執行額	執行率
水道事業	収入 3億8,327万0千円	0千円	0%
	支出 15億7,070万9千円	2億6,584万4千円	16.9%
下水道事業	収入 8億6,067万2千円	5,929万6千円	6.9%
	支出 15億7,211万2千円	3億3,298万5千円	21.2%

※ 資本的収支執行額の不足額は、水道料金および下水道使用料などの収入で生じた利益の積立金などで補てんされます

平成30年度 損益計算書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1. 事業収益	4,756万6千円
(1) 公有地取得事業収益	4,631万8千円
(2) 附帯等事業収益	124万8千円
2. 事業原価	4,809万2千円
(1) 公有地取得事業原価	4,809万2千円
(2) 附帯等事業原価	0千円
事業総損失	52万6千円
3. 販売費および一般管理費	77万7千円
事業損失	130万3千円
4. 事業外収益	627万5千円
(1) 受取利息	8千円
(2) 受取配当金	2千円
(3) 雑収益	626万5千円
5. 事業外費用	449万0千円
(1) 支払利息	449万0千円
経常利益	48万2千円
6. 特別損失	0千円
(1) 固定資産売却損	0千円
当期純利益	48万2千円